

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/10/02号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

一時95ドル突破、13カ月ぶりの高値更新

NY原油先物相場は、1バレル=95.03ドルまで上昇して昨年8月30日以来の高値を更新した後、利食い売りで90ドル台後半まで上げ幅を削る展開になった。国際原油需給のひっ迫見通しが強く、上値追いの展開が維持された。堅調な需要環境の一方で、サウジアラビアとロシアが供給調整を行っていることが、世界的な在庫減少を促すとの見方が強い。特にWTI原油先物の受渡場所であるオクラホマ州クッシング地区の在庫減少が好感されている。ただし、短期的な過熱感は極めて強く、95ドルの節目突破後は調整売りが膨らんだ。

米オクラホマ州クッシング地区の原油在庫は、7週連続で減少している。6月23日時点の4,324万バレルが直近の9月22日時点では2,196万バレルまで、約3か月でほぼ半減している。過去数年の最低水準に到達しており、WTI原油先物が期近限月主導で上昇する展開が支持されている。全米の原油在庫も昨年12月以来の低水準になっており、低在庫環境が原油相場の95ドル突破を後押しした。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月22日時点）は、原油が前週比217万バレル減、ガソリンが103万バレル増、石油精製品が40万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

95ドル突破を意識した展開、JMMCがイベントリスクに

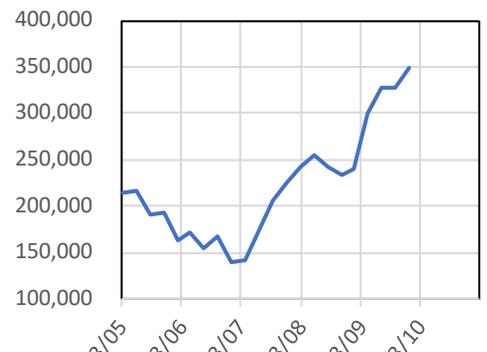
国際原油需給のひっ迫見通しが維持される中、押し目買い優勢の地合も維持されよう。前週は95ドル突破後に利食い売り優勢の展開になったが、調整売りで過熱感が緩和されると買いが膨らむ可能性が高い。国際原油需給のひっ迫見通しが早期に修正を迫られる可能性は低く、改めて95ドルの節目突破を窺う展開になろう。

10月4日に石油輸出国機構（OPEC）プラスの合同閣僚監視委員会が開催される。OPECプラスの産油政策に関しては、現行の生産枠を維持する可能性が高い。焦点は、これと前後してサウジアラビアとロシアが11月の供給削減規模を発表する可能性があることだ。10月はサウジアラビアが日量100万バレルの減産、ロシアが30万バレルの輸出削減を行っているが、11月の供給削減規模の縮小が発表されると、一時的に調整売りが広がる可能性がある。需給ひっ迫見通しに修正を迫るには至らない見通しだが、イベントリスクとしての注意は求められよう。

一方、米長期金利の急伸が進み、ドル高や株安圧力が強くなっていることはネガティブ。更に金利急伸が進むと、リスクオフ圧力が原油市場にも波及する可能性がある。また、米議会では10月1日から始まる新しい会計年度の予算案が9月30日時点でも成立していない。政府機関閉鎖などの混乱が本格化した際にも、下振れリスクが高まろう。

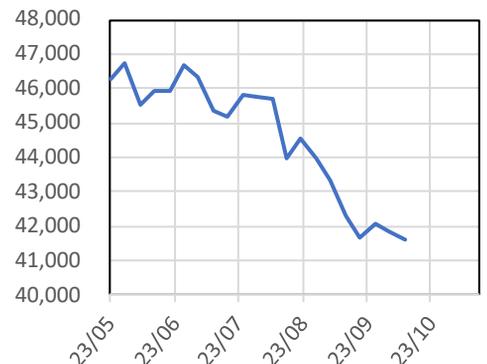
ただし、少なくとも年内は強力な在庫減少圧力が続く見通しであり、過熱感や外部環境主導の調整局面では、押し目買い優勢の地合が維持される見通し。7月以降は投機マネーの流入傾向も鮮明になっている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



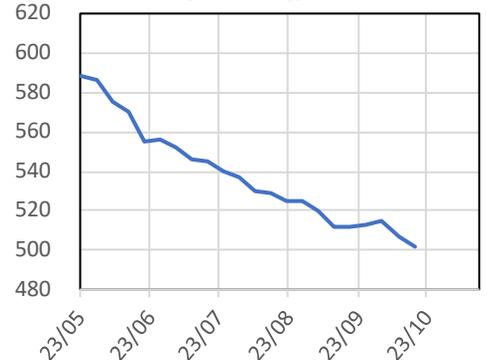
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

